

公募型プロポーザル方式による選定結果について

- 1 案件名称  
令和8年度親子関係再構築支援事業(児童虐待からの脱暴力支援プログラム) 実施業務委託
- 2 選定した委託予定事業者  
一般社団法人UNLEARN
- 3 公募期間  
令和7年11月21日～令和7年12月22日
- 4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿(敬称略)

委員氏名	役職等
石田 雅弘	認定NPO法人児童虐待防止協会副理事長
市村 好弘	社会福祉法人海の子学園評議員 社会福祉法人聖家族の家第三者委員
宮井 研治	京都橘大学総合心理学部総合心理学科教授

- (2) 選定委員会の開催日 令和7年11月19日(水)  
令和8年2月4日(水)

(3) 審査基準

審査項目	審査内容	配点 (100点満点)
事業趣旨への理解	事業の目的を十分に理解しているか。 事業の業務内容を理解した提案となっているか。	20点
運営理念や方針	事業者の理念・方針が本事業の目的に照らし適切か	
事業計画の企画力・実効性	計画内容に、企画力・実効性はあるか。 事業計画全体は効果性のある提案となっているか。 プログラムに信頼性はあるか。 対象者が利用しやすいプログラムか。	60点
事業計画の実現性	実現可能な実施内容となっているか。	
実施体制について	事業実施体制は、事業の目的達成の観点から十分準備されているか。	
専門性について	事業を実施するに当たって、専門性を有しているか。	20点
積算の妥当性について	事業内容、実施体制等に勘案して、提案価格は妥当か。 積算根拠が明確で適切な価格であるか。	

審査を行った事業者（五十音順）

一般社団法人UNLEARN 1者

(4) 審査の結果（選定委員の評価点の平均点）

審査項目	A社
事業趣旨への理解	14点
運営理念や方針	4.3点
事業計画の企画力・実効性	35点
事業計画の実現性	9.3点
実施体制について	9点
専門性について	9.7点
積算の妥当性について	8.3点
合計	89.6点

5 選定に係る問題点等及び次期改善点

特になし

以上